

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	浸水被害に際して、平屋にて近隣施設への移動避難を想定しているが、コロナ禍により移動避難訓練が実施されていない。	近隣施設への移動避難訓練を行い、その問題点を把握して災害対策の改善を図ることができている。	①近隣施設への移動避難訓練計画を策定する。※コロナ禍にて移動のみ行って施設内には入らない等、感染対策上可能な内容とする。 ②実際に近隣施設への移動避難訓練を行う。 ③訓練の反省・評価を行い、その問題点・改善点を抽出して避難計画に反映する。	6ヶ月
2	36	利用者の尊厳やプライバシーを保つ言葉かけ・対応に関して、職員研修により改善されてはいるが、利用者本人や第三者が聞いても不快・違和感のない言葉かけや対応ができるよう、今一度振り返りの学習をしていく必要がある。	利用者の意思を無視しない、社会通念から逸脱していない言葉かけや対応を学ぶことができている。	年間計画に従い実施される研修のうち、①身体的拘束(スピーチロックを含む)、②認知症者のケア、③高齢者虐待、④プライバシー保護、において、利用者の意思を無視しない、尊厳やプライバシーが保たれた言葉かけや対応について学習する機会を設ける。	12ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制について、コロナ禍により近隣住民と連携した避難訓練が実施されていない。	近隣住民と連携した避難訓練を行い、その問題点を把握して災害対策の改善を図ることができている。	①近隣住民との連携を想定した避難訓練計画を策定する。 ②実際に運営推進会議の開催に併せて、近隣住民との連携を想定した避難訓練を実施する。※運営推進会議の対面での開催が再開されてからの実施とする。 ③訓練の反省・評価を行い、その問題点・改善点を抽出して避難計画に反映する。	12ヶ月
4					ヶ月

